

誰もが理解している社会へ 理事 松谷朝美

やっと、今年度の養成講座の終わりが見えてきました。今年は、大雨や台風で日程が2転・3転。それに、午前・午後開講もあり、受講生の皆さん、講師・スタッフの皆さん本当にお疲れ様でした。しかし、ゴールはまだもう少し先。認定試験が待っています。時間のやりくりが大変だと思いますがあと少し頑張ってください。今年の講座は、例年になく学生も含め、多くの方が受講してくれて嬉しい年でした。積極的に質問をする方もいて、「今年は、活気がある講座だなあ」と感じました。修了後は試験に合格し、活動の力になってほしいと思います。そして、ぜひ周りの方にも聴覚障害者にとってこのような活動があることを伝えてほしいと思います。

最近、難聴者と直接関わるようになり、要約筆記者として活動して得てきた知識がその方への対応に少し活かせていると感じました。これまでは、派遣に行って現場で文字にするだけでしたが、難聴者が日常生活をする中でどのようなことに困るのかを知り、支援者としてさらに幅広い知識が必要だと思うようになりました。そして、要約筆記の周知不足も感じました。その方自身も要約筆記を知るまでしばらくかかったそうですし、職場や子どものために病院や幼稚園などいろんなところへ行く際に周囲は要約筆記を知らないのはもちろん、配慮のない方が多いのが現状だと聞きました。

9月にある幼稚園の先生方へ難聴者への対応の仕方について講義をさせていただきました。熱心に質問をいただき、それまで筆談などで伝えていたようですが、記号を使ったり短く書くポイントを知っていただき、より伝えやすくできることが分かっていただけだそうです。中学・高校でのふれあい体験学習や大学でのノートテイク講義などで子どもたちに要約筆記の体験をしてもらっていますが、そのような機会を通じて若い方に知ってもらい、これからの世代が聞こえの不自由な方への対応を誰もが理解しているような社会になってほしいと思います。

やまもも会員
12月現在 59名
(内 賛助会員4名)

<要約筆記 高知・やまもも のできごと>

平成22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県委託事業 要約筆記奉仕員養成講座開講 ・派遣数 77件 (含 養成講座講師派遣) ・かたつむり国語教室支援 ・知事との「対話と実行座談会 団体発表 ・会長 溝渕三枝子
-----------------	---



受講生の声シリーズ 第2弾 !

講座はいよいよ終盤近くなりました。皆さんの声をご紹介します!

講座に通い始めて

尾崎 果子

試験まで残り約3カ月となり、焦りと不安を感じています。私は手書きコースを受講していますが、文字の大きさや話の内容が伝わりやすい要約を意識しながら書くことは自分自身が思っている以上に難しいです。しかし、やまものの方々の的確なアドバイスのおかげで少しずつではあるものの、要約技術が身についているように思います。また、要約技術の習得の他にも、養成講座を受ける中で相手の気持ちを考えた支援というものへの理解も深めることができます。聴覚障害者が抱える悩みや必要とする支援を知ることが大切で必ず技術面にも生きてくると思います。今後も残りの講座で学びを深め、努力したいです。

受講して

山本 雅恵

「聞こえること」と「聞き取る」ことは違う。私はハッとしました。聞こえるのだから、当然話の内容も分かるはずだと思ったからです。この講座は私が当たり前だと思っていたことを、そうではないよと気づかせてくれます。また、合格することが終わりではない。そこから始まり、また続いていくという話しにより良い通訳者になるという熱い思いを感じました。いつもバツサリ切られる表出文チェックの実習。どうしたものかと悩んでいる私には、手取り足取りして教えてもらえるラッキー授業です。

両コース受講してみても

森岡 知佳

昨年の、手書きに続いてパソコンを受講しています。

どちらも難しいけれど、それぞれ違う得られるものがあり、他でも役立つ場面もある。

1年目の皆さんも、是非両方経験されてみたらどうでしょう。回数こなしていくごとに、受講生同士の会話も増え、やまもの皆さんとも親しみを感じ、講座が楽しみにもなっている。様々な条件の中、聴覚障害者の役に立とうと自主的に毎週講座に通う皆さんと一緒に受講しながらも感心しています。

今年は、昨年一緒に受講した県立大のお2人と、やまもの宣伝効果で受講生が多く特に大学生が多い。若い力で、高知県から合格者が1人でも多く出ることを期待しています。私も、その一人になれたらいいな〜と・・・皆なで頑張りましょう!

少しずつ実感するスキルアップ

小笠原 優

室戸市から養成講座に通っていて、仕事柄休まざるをえないときもありましたが、何とか講座を最後まで受けることができそうです。

講座の内容は毎回新鮮で、聴覚障害のことや障害者のことを学ぶなかで、今まで見ていた風景に色が増えたように世界観に広がりを感じています。また要約技術を学ぶことにより、仕事において文章の作成や校正が割合スムーズになってきていることを実感しています。これから試験に向けた学習のなかで、技術はもとよりチームワークや変動する状況に応じた対応など少しでも身につけてがんばっていきたいと思います。

講座受講生に期待する

講座担当 松村 滋子

要約筆記者養成講座もあと2回。後半の実習では「難しい」「とても無理」などの声も聞く。要約筆記は難しい。話の意図を正確につかみ、読みやすい文章、話終わり書き終わりの差が7秒しか許されない。パソコン・手書き両コースとも出来上がりにため息をついている暇はない。5月からの努力の結果を出す日が近づいている。講座終了後に始まるスキルアップ研修ほか、機会をとらえて積極的に貪欲に自分の技術を確かなものにしていただきたい。仲間として皆さんを待っています。

人・ヒト・ひと

横顔 24

森岡俊子 さん

★端正で自分をきちんと持った方だと思います。(違っていたらアイムソーリー)。そして物怖じしない、相手がひるむぐらいの迫力をどこかに秘めている…とも思うのですがコメントを拝見すると、何やらのんびり屋さんのところもあるような。(ホッとしました!!)



■入会年は？／H21年。講座はH20年だったのですが、翌年に補習か実習を受けてからの入会になりました。入会は少し迷いましたが、できる範囲でやってみようかと、思いきって入りました。

■趣味は？／今は、テレビドラマを見ること。

そして、すてきな古い洋館等のロケ地を検索する。

■習慣／朝ドラを録画しておき、夜、ご飯を食べながら見る。我が家では、「夜ドラ」です。

■理想のタイプ／日常生活において、なんでもできる人。

■いけないと思いつつやってしまうことは？／夜更かし。健康のためには早く寝ないといけないのですが

■自分の性格は？／のんびりやで、マイペース。

■嫌いなことは？／片付け。やる気がなかなか…。

★次回も
お楽しみに



読書

昔の教科書

廣田美子

最近、蔵の隅の古いリンゴ箱の中に昔の教科書を見つけた。明治10年発行の小学習字の1頁は天地陰陽日月とあり、社寺帝王都邑、安穩始終本来もあり昔の小学生は大変だったと思う。明治27年の教科書「女徳宝鑑」の中には孝行、貞淑、節儉等を説き最後の1行には「兵役につくは国民の務めなり」とあった。昭和7年発行の四国88カ所はお寺の周囲の様子が今と大きく違っておもしろかった。

新刊もいいが古い本も臭いも味もあります。いつでもお貸ししますよ。

掲示板

敬称略

◆平成30年度 スキルアップ研修

(30年度全国統一要約筆記者認定試験対策)
ふるってご参加ください。無料!

手書き・パソコン

30年12月8日～31年2月10日 計7回

会場 高知市障害者福祉センター

申込・問合せ 管理担当

mail: ogura_annko_0207@yahoo.co.jp

FAX: 088-863-7675 (専)

全要研集会 秋季大会に参加

小笠原文香

全要研集会は今年度から年2回開催になりました。その秋季大会が東京で開催された。第1分科会「読みやすさ・わかりやすさ」～全要研の読みやすさの研究と視覚情報のUD～の【3】文章の表示条件と読みやすさの実験結果に興味があり井上朋実さんと参加。要約筆記現場を想定した(再現?)2パターンで表示行数と1行の文字数を変える実験の結果、いずれも1行が15～20文字程度が読みやすいという結論。1行が長いと読みづらいと思っていた私には意外でした。情報提供のためのユニバーサルデザインの視点を持つことの大切さを学ぶいい機会でした。

Amazonでのお買い物は ⇒ やまもものホームページ Amazon アソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費として Amazon からやまもものに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年12月 活動予定			
日・曜	会 合 名	時 間	場 所
1日(土)	理事例会	10:00~12:00	障害者福祉センター
2日(日)	要約筆記者養成講座 第28回	9:30~12:30	障害者福祉センター
8日(土)	スキルアップ 第1回	10:00~12:00	障害者福祉センター
8日(土)	土佐市じんけんセミナー	14:00~15:30	土佐市高岡第一小学校
9日(日)	じんけんふれあいフェスタ	9:30~15:30	高知市中央公園
13日(木)	木曜会(予定)	10:00~12:00	障害者福祉センター
14日(金)	ノートテイク		
15日(土)	アディクションフォーラム高知	10:00~16:00	ソーレ
16日(日)	スキルアップ 第2回	10:00~12:00	障害者福祉センター
20日(木)	木曜会(予定)	10:00~12:00	障害者福祉センター
30年11月 活動追加			
日・曜	会 合 名	時 間	場 所
10日(土)	むろとげんきフェスタ	10:00~15:00	室戸市保健福祉センター
19日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
25日(土)	タウンミーティング in 高知	15:00~16:30	オーテピア

★★<要約筆記勉強法 !!>

要約筆記を始めた頃、聞こえてくる「ことば」につられて仕方がなかった。次から次へと聞こえる音声に気を取られるから、途中で、どう書けばいいかが分からなくなる。それを何とか克服したいと考えた一人勉強法。

①短い文章を読む(400字前後の文) ②要旨は何かを考える(要するに、どういうことか) ③テレビ番組等を活用し、必要な情報を聞き分けてみる(テーマが明確で短時間のものを選び、筆記をする) ④意味が取れる文章になっているかを確認する(要らないものは削除・必要なものは足してみる) 直ぐに効果は出ないが、薄紙を1枚ずつ重ねるように、まずは「習慣」にすることが大事かと。ひとまず、お試しあれ。(要約筆記子.K)



《まっこと》 ■ゆるいイスラムの国、ウズベキスタンへ行ってきた。建国二十三年という若い国で国土の八十%は平たん地。その大半を砂漠が占めるという。顔つきは日本人に似ていて女性は私によく似ていた。都会のひとはそうでもなかったが男の人は帽子を被りヒゲをたくわえ異国情緒十分だった。人々は穏やかで平和そうに見えた。町には塵もなく広い公園も掃除がいき届き清潔であった。日中は三十度を越し夜は結構冷えた。旅行中十食は同じメニューで閉口した。この国へ行ってみたい人は後、五、六年待つ方がいいかも。(美) ■石路の黄花が咲き継いで、今年も私の誕生日が来た。ハート形をぐつと丸めた濃緑の葉がまわりを固め太い茎を広げ沢山の蕾がのびのびと咲く。グループの中にいる安心感のように私には見える。近頃この花の四つの花言葉を知った。☆いつも笑顔で変わらない☆困難に傷つけられない☆謙譲☆謙遜。誕生日は私に反省する日にせよということか。(善) ■保育園で仲良くなり小学校時代も続いた友が二人いる。思春期から子育て期には音沙汰なしのときもあった。ただ三人とも平穏な人生ではなかったからかつかず離れずで励まし合ってきた。〇〇ちゃんと臆面もなく呼び合い、三、四回集う。そして驚くような失敗談を自慢げに披露しあい涙を流して笑う。世事を忘れられるひととき何にも勝る。(滋) ■久しぶりに高知大学を訪れた。構内中央通路の紅葉した木陰の下に緑色のパラソルとベンチがそこそこに置かれ学生がお茶や談笑する風景。一瞬遠い昔を思い出した。(三)